

# SNSに「死にたい」68%

神奈川県座間市で9人の遺体が見つかった事件を受け、生きづらさを抱える少女らを支援する東京のNPO法人「BONDプロジェクト」が、これまで相談を受けたことがある若い女性らにアンケートした結果を21日、公表した。回答者100人のうち68%が、会員制交流サイト（SNS）で「死にたい」となごつぶやいたことがあると答えた。

## 相談の10～20代女性

「存在を認めてほしい」「同じ気持ちを持っている人と分かち合いたい」との理由が目立った。記者会見した橘ジュン代表は「寂しさや、誰かに分かってほしいという気持ちが共通している。そこにつけ込まれず、安全な人たちとつながられるような場所が必要だ」と訴えた。

同プロジェクトは11月10日、これまで相談を受けた当時10～20代の女性約千人にメールで質問状を送り、100人からの回答をまとめた。

座間市の事件では、ツイッターなどで自殺願望を示唆した女性らが犠牲になった。知

## NPO調査 「存在認めてほしい」

立たった。知らない相手とSNS上でやりとりをしたことがあると答えた人は61%に上り、理由を尋ねると「心配してくれるのがうれしい」（23歳）、「共感が得られるだけで1人じゃないって思えた」（22歳）などの記述があった。

SNSで不特定多数にコメントが見られることに不安はない、と回答したのは53%だった。

事件の感想としては「私も10人目（の犠牲者）になっていたかもしれない」（16歳）、「ネットでのつながり全てを否定しないでほしい」（25歳）などの意見があった。

